

留学生とともに築く地域活性化

—前橋コミュニティラジオ放送から地域へ・企業へ・世界へ発信—

・発表目次

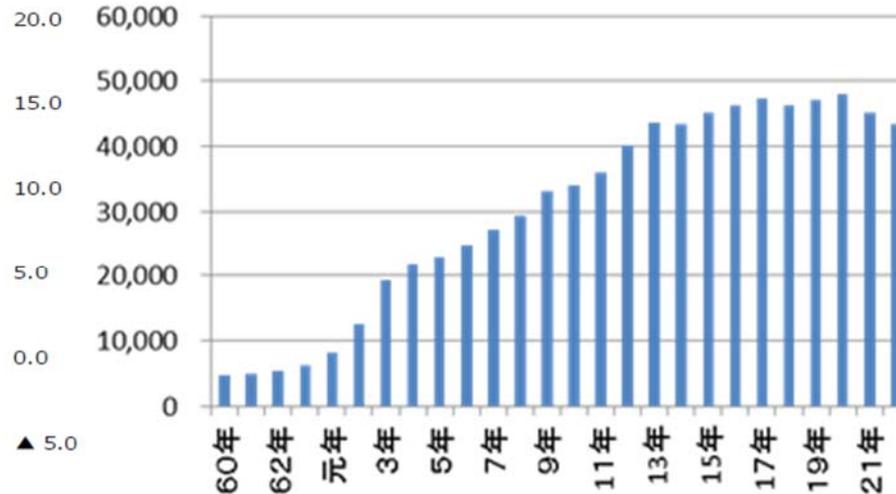
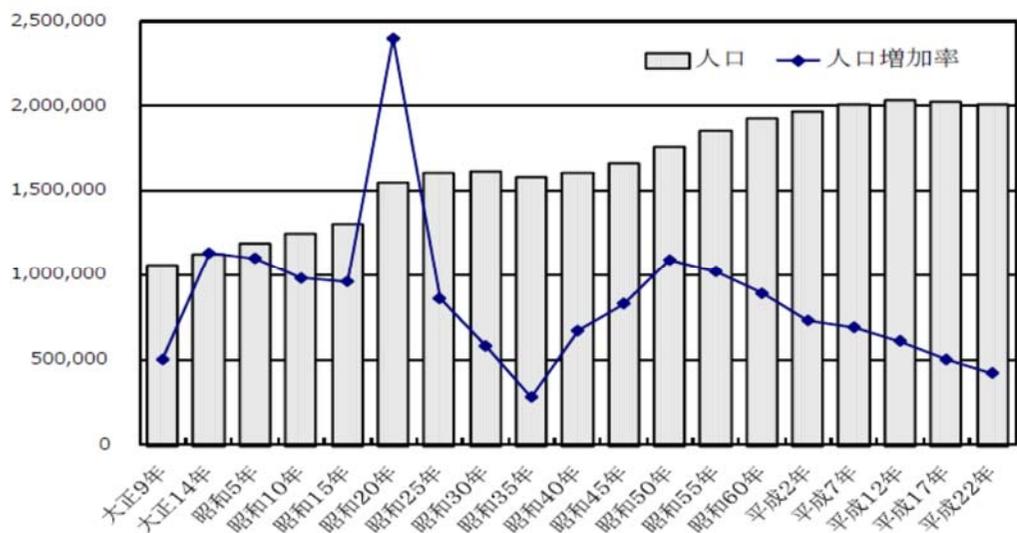
1. 群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニットについて
 - (1) ダイバーシティで地域活性化をはかる
 - (2) 群馬大学での人材養成・群馬県での人材活用
2. 実践事例の紹介
留学生の県内定住化をめざす多文化共生コミュニティ形成事業
 - (1) 内容と実施体制
 - (2) 活動内容
 - ① 企業向・留学生向け実態調査
 - ② 情報紙「ぐんま留学生LIFE」発刊
 - ③ インターンシップ
 - ④ 留学生応援ラジオ「前橋留学生活」
 - ⑤ 「前橋留学生活」のWEB発信
3. 知見と期待される効果

・発表者 結城 恵・群馬大学教育基盤センター

ダイバーシティで地域活性化をはかる

文部科学省科学技術振興推進費 地域人材創出拠点の形成 選定事業 群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニット

1. 群馬県の人口減少を支える外国人住民＝出稼ぎから定住へ。地域活性化の鍵となる人材。



群馬県調べ

2. 地域のダイバーシティを活用した地域活性化の担い手＝多文化共生推進士を県と連携して養成

「多文化共生推進士」とは?

「多文化共生推進士」とは、「国籍や民族などの多様な背景を持つ人々が地域社会の一員として共に質の高い生活を送れるように、「多文化共生」の視点を持って社会システムづくりを行い、新産業の創出を目指して地域の活性化を担う人材」のことで、3つの全てのコースを修了した者に対して、群馬県が認定します。



群馬大学での人材養成・群馬県での人材活用



1. 群馬大学＝多文化共生推進士の養成



履修証明プログラム

- 「多文化共生推進プランナー」プログラム:「アナリスト・コース」と「プランナー・コース」の2コースのみを履修するもの。
- 「多文化共生推進コンサルタント」プログラム:「アナリスト・コース」と「プランナー・コース」、「コンサルタント・コース」の3コースを履修するもの。修了者は「多文化共生推進士」としての要件を満たします。

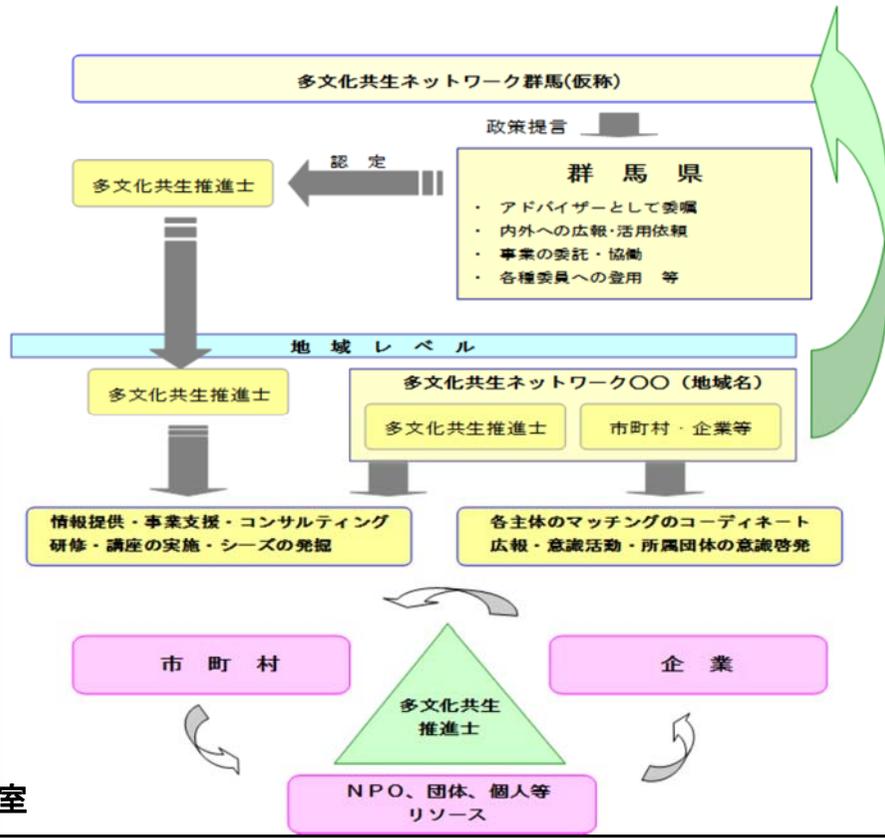
3. 履修生によるプロジェクト

3コース全履修生20名 (H24年度現在)

- ①自転車班 在日外国人児童・生徒への「やさしい日本語」による自転車安全教室
- ②MINAKAMI班 民話と子守唄を通じた国際文化交流の集い 他2件。



2. 群馬県＝多文化共生推進士の活用



本日も紹介するプロジェクト



留学生ラジオ班によるラジオ番組「前橋留学生活」収録の様子

留学生ラジオ班
留学生の県内定住化をめざす多文化共生コミュニティ形成事業

留学生ネットワーク班
ぐんま留学生ネットワーク地域情報紙作成事業



地域情報紙の作成にあたり、留学生と意見交換をする履修生

留学生の県内定住化をめざす多文化共生コミュニティ形成事業

1. 異業種・異年齢チーム



3. 前橋を拠点とする留学生 推計1,500名



2. 背景と目的

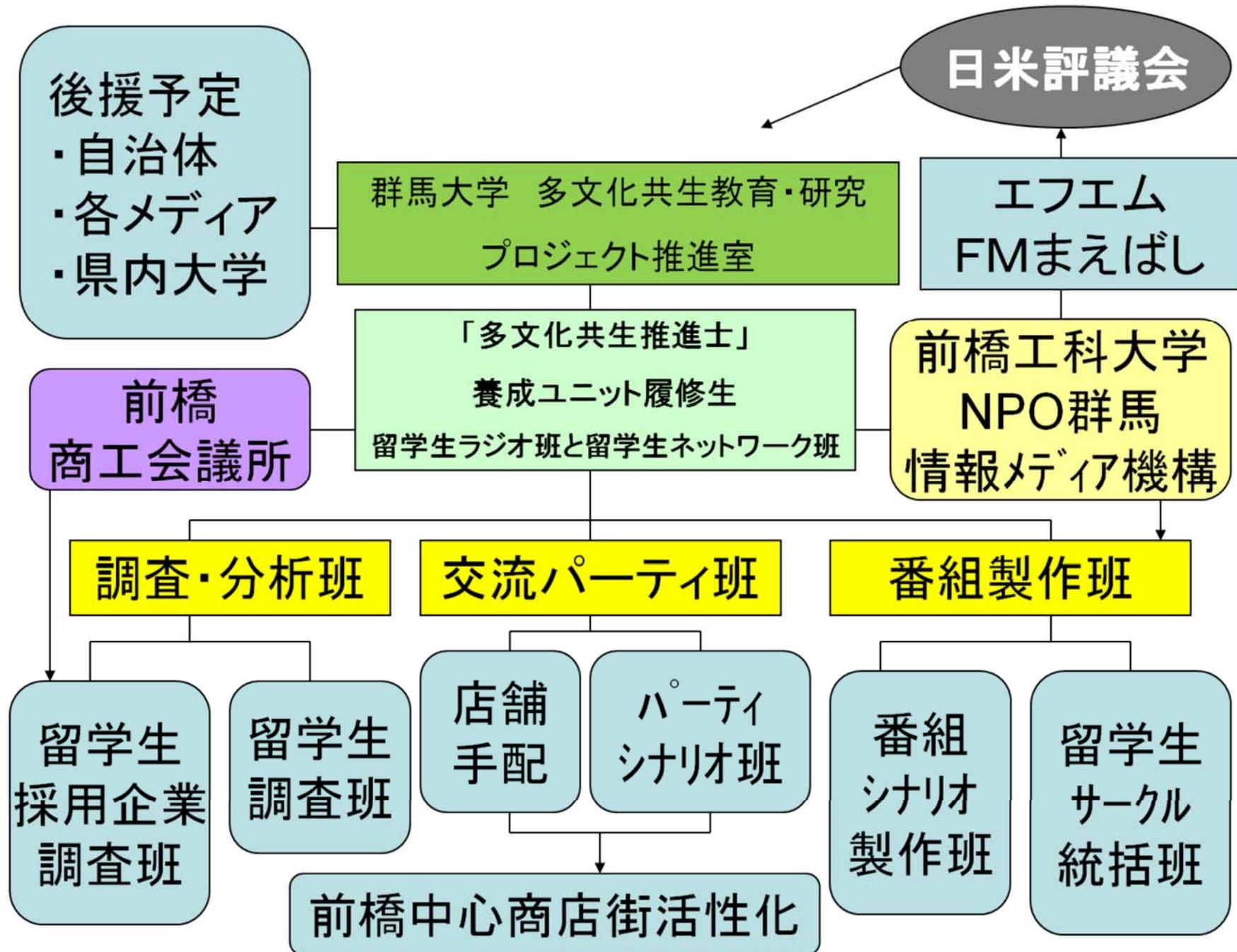
- ①留学生は、日常生活及び自己の就業に関し日本人学生と比べて情報にアクセスしにくい。
- ②この情報のミスマッチを解消することで、県内地域に根付きやすい環境を作り上げたい。
- ③その方法のひとつとして、留学生が参画する情報番組を編成し、前橋コミュニティラジオで発信。
- ④番組放送後にも留学生と地域関係者がコミュニティを形成できるような機会を提供。

地元地域を知り・協働する体験を積むことで
留学生も参画する多文化共生コミュニティの創出へ。
群馬で働き暮らす留学生が増えないか。

～ハタラクラス～

の誕生

内容と実施体制



企業向け実態調査

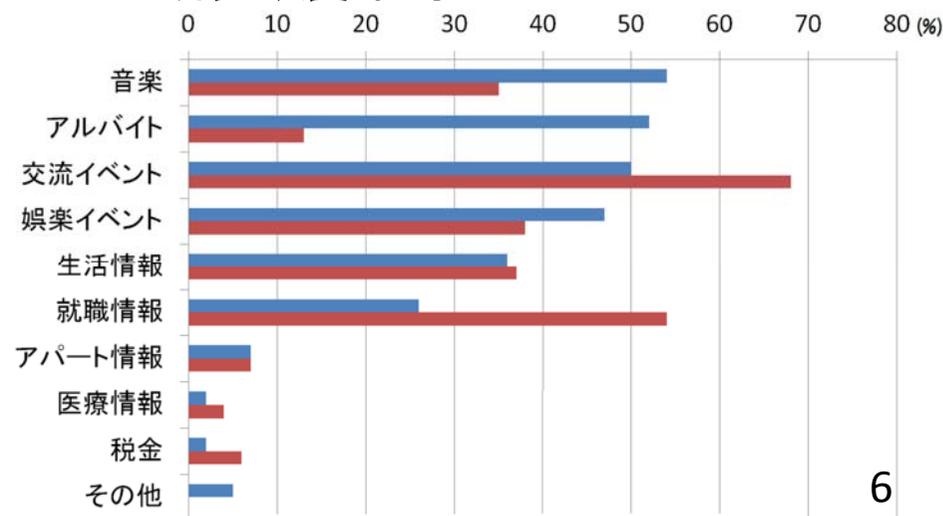
前橋商工会議所の協力得て実施。
50社が回答。

- ・留学生採用計画
あり 3 なし 47
- ・海外拠点
あり 4 検討中 5
- ・留学生採用「なし」の理由
 - 海外進出の予定なし 14
 - 国外との取引なし 9
 - 計画あったが人材なし 8
- ・留学生に期待すること
 - 海外拠点での人材管理 6
 - 母国のネットワーク力 6
 - 語学力 3
 - 技術力 2

留学生向け実態調査

前橋にある3大学で実施。54名が回答。

- ・国籍 中国33 ベトナム 5
タイ、スロベニア 各3
アメリカ・台湾 各3 他
- ・将来の予定居住地
日本 31 母国 10
他国 2(アメリカへ) 未定11
- ・日本でしたい仕事
商社・貿易、一般事務、マスコミ
旅行会社・旅行ガイド、教育、
通訳・翻訳、自動車メーカー、
研究、農業等



GUNMA FOREIGN STUDENT LIFE

ぐんま留学生LIFE

ぐんまで暮らす・働く

2015 WINTER VOL.1

君、いまどこにいるの？
地球の上だよ
君と同じ星の上だよ
メタカモウツリモ
猫も象も
草も木も

みんな ぐんまに来て
泣くも笑うも ぐんまだから
共に生きる 青い星

INDEX

- 1 ぐんまの留学生事情 2
- 2 ぐんまで暮らす ~留学生の暮らし方~ 4
 - ・前橋
 - ・高崎
 - ・桐生
- 3 ぐんまで働く ~先輩！どうしてるんですか？~ 8
- 4 メンバー紹介、編集後記 12

謝辞内 一編(元伊勢崎市長) 絵:結城 麗子(当時小2)
Copyright©2002Gunma University

MEMBER INTRODUCTION

メンバー紹介

①名前 ②所属・学年 ③国籍

①胡琛
②群馬大学 社会情報学部 / 2年
③中国

いろいろな課外活動は私の留学生生活を充実させている。先生や同僚、ワークルの先輩後輩、バイト先の方、大家さん及び近所、みんなが優しく、仲良いので、毎口とても楽しい、同じの志を持っている友だちもできて、心から前向きになった。この大ききない成はまるで私の第2の故郷である。これからも日本で勉強したいと思う。

①下津 ミリアン 結美
②群馬大学 社会情報学部 研究生
③ブラジル

日本の哲学は一生忘れられない素晴らしい経験でした。将来は哲学で得た知識を生かす仕事をしたいと思います。

①鍾 詩陶
②群馬大学 社会情報学部 / 1年
③中国

1年間前橋の皆さんにお世話になりました。これからもどうぞよろしくお願ひします(ご多幸) 再来日本で勉強するのを楽しんでいます！

①陳 麗
②高崎経済大学 経済学部経営学科
③中国

初めて留学生を中心に交流を行う活動に参加し、とても面白かったです。また、群馬県内の留学生が集まって、より多くの人と出会うチャンスを与えてくれて、今後この留学生ネットワークを通じて、皆さんとぐんまをアピールしていきたいと思ひます。

①張 文熙
②高崎経済大学 流通情報学部 流通情報学科
③中国

人生に後悔しないように、頑張って生きていきたい！

①陳 震一
②群馬大学大学院 医学系研究科 / 1年
③中国

今は群馬大学医学部獣医学部を研究しています。実は私の大学時代の指導教員は群馬大学医学部の卒業生なので、群馬大学に来ました。修士を卒業したら、博士の勉強をしたいと思ひます。自分のコーヒー店を経営するのが私の夢です。コーヒーを飲みながら、本を読むことで一日居られる店を作りたいです。

JAPANESE SUPPORTER INTRODUCTION

日本人サポーター紹介

①渡辺 絵里
群馬大学教育学部 / 4年

留学生との関わり合いは、自分の世界を広げてくれます！わくわくの連続！！

①渡辺 慎也
群馬大学教育学部 / 4年

活動に参加していく中で群馬県における留学生の支援、地域との交流が上手くなされていない現状を知った。この現状に対して今回私たち留学生班ではハンフレット製作を行ったが、これをキッカケに群馬に来られる留学生の方々が群馬での留学生活に対して実態と希望を持ってこれれば幸いです。

①高波 恵璃
群馬大学医学部 / 1年

留学生ネットワークに参加し、たくさんの方々や発見に出会い、貴重な体験をすることができました。この活動が留学生の方々とのコミュニティを広げることの助けとなること出来れば幸いです。



本プロジェクト担当メンバーが
経営するインテリアショップで
インターンシップを実施

受入れ側の感想

お客様を「もてなす」気持ちは、
世界各国同じ。

新たな労働力として

留学生→インターンシップ→採用
までの可能性を感じた。

留学生側の感想

展示されている世界各国の
家具に現れる作り手の「暮らし
やすさ」への追究。店内のポッ
プに現れるお店の「暮らしやす
さ」を伝える思い。未知の体験
に感動した。

前橋留学生活

Maebashi Studying-abroad Life

T O P

前橋留学生活

USTREAM

FACEBOOK

群馬大学

LINK

お問合せ



前橋留学生活 第3回 05:00 / 29:08 USTREAM RECORDED LIVE

Video streaming by Ustream



Privacy Policy

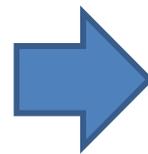


「地域企業の国際化戦略」という段階には至らない状況にある地域では、地域に住みたい・働きたいと考える留学生の存在の認知と活用が「地域戦略」の第一歩となり得るのではないか。

留学生が地域人材として主体的に活躍できる環境づくりを

～ハタラクラス～

ぐんま留学生LIFE
インターンシップ
前橋留学生活



知る
協働する 場づくり
発信する



地域企業と留学生の間の距離を狭め、
両者間の取組を地域へ、世界へ発信。

学生がつなぐ海外と日本企業の連携を期待

お問い合わせ先

●講師 結城 恵

群馬大学 大学教育・学生支援機構
教育基盤センター教授

〒371-8510 前橋市荒牧町四丁目2番地

yuki@gunma-u.ac.jp

●確認●

- 発表資料のWEB掲載の可否について

発表資料を4uのホームページに掲載する予定です。
資料のWEB掲載の可否をお伺いします。下記3つの
いずれに ○ をつけてください。

掲載可※ ・ 掲載不可 ・
一部掲載不可(スライドNo.)

※掲載用資料は本資料と異なる場合、事例講演会后、掲載用資料を茨城大学産学
官連携イノベーション創成機構 舒(shu_yan@mx.ibaraki.ac.jp)にご送付ください。